

Adobe InDesign Plug-In
ver 3.07

インタラクティブ PDF 版／ブラウザ用

製品説明書

Creative

はじめに

このたびはインデザイン変更履歴表示プラグイン
Cacotte シリーズをご利用いただき誠にありがとうございます。
本書では Cacotte の仕様や使用方法をご説明します。

最新のアップデート履歴

- Cacotte ver 3.07 **Bug Fix Update**

全バージョンにおいて、今まで非対応だった脚注・後注のカコミ枠へ対応しました。
重要度の高いアップデートのため、ご利用の皆様はアップデートの適用を推奨致します。

- Cacotte ver 3.06 **Update**

Windows / macOS にて Adobe InDesign 2020 へ対応しました。
その他軽微なバグが修正されました。

動作環境

Microsoft Windows 版 (32bit/64bit)

Adobe InDesign CS5/CS5.5/CS6/CC2017/CC2018/
CC2019/^{NEW!!}2020

Macintosh macOS 版

Adobe InDesign CC2017/CC2018/CC2019/^{NEW!!}2020

- ※ Windows 版は Microsoft Windows 10 64bit 1903update 以降での動作を推奨しています
- ※ macOS 版は macOS Catalina / macOS Mojave をサポートしています
- ※ OS のアーキテクチャ (32bit・x86/64bit・x64) 別の対応は Adobe InDesign に準拠します
- ※ Adobe InDesign シリーズ は、Adobe Systems, Inc. の登録商標です
- ※ Microsoft Windows は、Microsoft Corp. の登録商標です
- ※ Macintosh macOS は、Apple Corp. の登録商標です

製品の主な特徴

- テキストフレーム内の文字の変更箇所を任意のカコミ枠で表示します。
- カコミ枠の位置情報を保持するための変更履歴情報はドキュメント内に保存されます。
この情報は Cacotte パネル上でのみ削除・出力等の操作が可能です。
- カコミ枠の存在するページは自動で抽出し、PDF へ出力することができます。
InDesign 標準の出力機能を利用される場合はカコミ枠は出力結果に影響されません。

カコミ枠の付く箇所

Cacotte はテキストフレーム内の修正箇所のイベントを検出します。カコミ枠の付く箇所はバージョンアップにて順次拡大する予定です。右記は現時点でのカコミ枠の付く箇所、付かない箇所の一覧です。

カコミ枠の付く箇所

- テキストフレーム内の挿入
- 削除
- 差換え
- ルビ (親文字にカコミ枠)
- 改行などの特殊文字
- 配置テキスト
- 文字スタイル
- 文字パネルで変更出来る項目
- 段落スタイル
- 段落パネルで変更出来る項目
- 表組み内の文字など
- NEW!!脚注・後注のテキスト

カコミ枠の付かない箇所

- テキストフレーム内のサンプルテキストの割り付けなど
- テキストフレーム以外の、グラフィックフレーム
- セクションの設定項目
- 表組のセルのコピー&ペーストなど

免責事項

本ソフトウェアおよび付属文書について、その品質、性能または特定目的に対する適合性を含め一切保証はいたしません。

いかなる場合においても、本ソフトウェアおよび付属文書の使用または使用不能から生じるコンピュータの故障または損傷、情報の消失、その他あらゆる直接的および間接的損害に関し、販売元である旭印刷および開発元のケイ・ジェイ・システムズは一切責任を負いません。

また、本ソフトウェアで表示される内容や本製品説明書に記載されている内容に関しても一切の責任を負いません。

本ソフトウェアは機能改善の為、予告なく一部プログラムまたはインターフェイスを改良する場合があります。

Cacotte インストール

インストールの前に確認していただきたい事項

現在ご利用の環境で、各種ウイルススキャンソフトを利用されているお客様へのご案内です。

ウイルススキャンソフトの設定によっては、本プラグインのインストール時に同プログラムが削除対象、検出対象になる事がございます。その場合各ウイルススキャンソフトの取り扱い説明書をお読みになり、本プラグイン及びそれを含むフォルダを検索対象から除外してから作業を行って下さい。本プラグインは一度ライセンス認証がされるまでは、初回インストール日から3ヶ月間の体験版として利用できます。体験版としての利用を前提とする場合、本プラグインを利用して操作対象とする、InDesign ドキュメントは事前にバックアップされてから利用することをお勧めします。

また、Mac OS をご利用で、一部の GPU を搭載しているマシンと、InDesign の間でレンダリングエラー（画面のズーム、パンの変更をした際に枠内の文字が表示されなくなるといった現象）が発生することがあります。もしこの症状が発生した場合、以下の手順を行なって下さい。

macOS 一部 GPU 向け 設定手順

macOS + InDesign CC2017/CC2018/CC2019/2020 の環境の場合にのみ、この操作は有効です。

InDesign の起動後 メニューバーの InDesign > 環境設定 > GPU パフォーマンス の画面を開きます。

GPU パフォーマンスの項目にチェックが入っている場合、そのチェックを外し、OK をクリックします。

GPU パフォーマンスの機能をオフにすることでレンダリングエラーを抑制できます。

※この操作により GPU パフォーマンスが無効化される為、極端に容量の大きい画像を処理する時などに動作に遅延が発生する場合があります。

※この問題は、macOS 10.13 High Sierra 以降をお使いのお客様に起こる可能性があります。

インストール手順

製品フォルダ内の構造が**図 1**の通りであることを、まずご確認ください。

ご利用の InDesign のバージョンを確認し、各 InDesign のバージョンフォルダ下の **Cacotte** フォルダを、下記の表を参考に **Plug-Ins** フォルダの中にフォルダごとコピーして下さい。フォルダをコピーすることでプラグインのインストールが完了します。

■図 1 製品フォルダ内の構造



■ Windows の場合

- 32bit:64bit の OS のアーキテクチャにより、コピー先フォルダが異なります。64bitOS でない場合は (x86) フォルダはありません。ご注意ください。
- Adobe Creative Cloud Desktop Application 導入以前の InDesign CS の各バージョンでは、お客様が任意で、InDesign のインストールディレクトリを変更できますが、下記に示す例ではデフォルト設定のまま C ドライブにインストールしたものと仮定します。

InDesign バージョン	コピー先
32bit OS InDesign CS5	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CS5 ▶ Plug-Ins
64bit OS 環境上の InDesign CS5 (32bit 動作)	C: ▶ Program Files (x86) ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CS5 ▶ Plug-Ins
32bit OS InDesign CS5.5	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CS5.5 ▶ Plug-Ins
64bit OS 環境上の InDesign CS5.5 (32bit 動作)	C: ▶ Program Files (x86) ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CS5.5 ▶ Plug-Ins
32bit OS InDesign CS6	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CS6 ▶ Plug-Ins
64bit OS 環境上の InDesign CS6 (32bit 動作)	C: ▶ Program Files (x86) ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CS6 ▶ Plug-Ins
32bit OS InDesign CC2017	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CC 2017 ▶ Plug-Ins
64bit OS InDesign CC2017 [※]	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CC 2017 ▶ Plug-Ins
32bit OS InDesign CC2018	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CC 2018 ▶ Plug-Ins
64bit OS InDesign CC2018 [※]	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CC 2018 ▶ Plug-Ins
32bit OS InDesign CC2019	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CC 2019 ▶ Plug-Ins
64bit OS InDesign CC2019 [※]	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign CC 2019 ▶ Plug-Ins
64bit OS InDesign 2020 [※]	C: ▶ Program Files ▶ Adobe ▶ Adobe InDesign 2020 ▶ Plug-Ins

※ Adobe InDesign CC2017, CC2018, CC2019 は 64bit OS 環境に 32bit 版をインストールすることはできません。

※ Adobe InDesign 2020 は 64bit OS のみのサポートです。

■ macOS の場合

- インストール作業の前に Adobe Creative Cloud Desktop Application で、InDesign CC2017/CC2018/CC2019/2020 を最新版にして下さい。
- macOS 10.13.x High Sierra を最新版にして下さい。
- macOS 10.14.x Mojave を最新版にして下さい。
- macOS 10.15.x Catalina を最新版にして下さい。
- macOS 下では 64bit の OS のアーキテクチャのみがサポートされます。
- インストールのフォルダの設置は Mac の Administrator / Root 権限を持つユーザーが行なって下さい。

InDesign バージョン	コピー先
InDesign CC2017	アプリケーション ▶ Adobe InDesign CC2017 ▶ Plug-ins
InDesign CC2018	アプリケーション ▶ Adobe InDesign CC2018 ▶ Plug-ins
InDesign CC2019	アプリケーション ▶ Adobe InDesign CC2019 ▶ Plug-ins
InDesign 2020	アプリケーション ▶ Adobe InDesign 2020 ▶ Plug-ins

インストール後の設定と確認

InDesign メニューバーのウィンドウから『Cacotte』にチェックを入れると初回起動時には『Cacotte 体験版からのお知らせ』ウィンドウが表示されます。OK をクリックすると、シリアル番号の入力画面に遷移します。

詳しくはマニュアルの [『製品導入後の設定と確認項目』](#) をご覧下さい。

シリアル番号に有効なシリアルを入力し OK を押すことでプラグインを利用できるようになります。

※キーボードショートカットのカスタムユーザーセットを利用している場合、プラグインを新たに導入またはバージョンアップなどにより更新した際に、デフォルトセットへ戻ることがあります。セットが変更されるだけでユーザーセットが削除されることはありません。改めて選択し直していただくようお願いいたします。

アンインストールの手順

インストールの手順で紹介した、[コピー元とコピー先のフォルダ一覧](#)のコピー先の InDesign のプラグインのフォルダから『Cacotte』のフォルダを削除して下さい。フォルダを削除することで Cacotte が削除されます。

※シリアル認証がされていない、3ヶ月間の体験版のままの状態ではプラグインを削除しても、初回起動からの日付の管理情報は残ります。期間内に再インストールしていただければ引き続き体験版として利用できます。期間を過ぎてから再インストールした場合、シリアル番号が認証されない限り Cacotte をフル機能で利用することは出来ません。

※ Cacotte をアンインストールすると、ドキュメントに埋め込まれたカコミ枠のプラグイン情報は削除することが出来なくなります。その場合、カコミ枠のプラグイン情報が残ったままのドキュメントでは、InDesign のドキュメントをパッケージする再外部プラグイン情報として Cacotte_ × × × .InDesignPlugin (× × × は InDesign のバージョン) という表示が出てしまいます。埋め込まれたプラグイン情報を削除して、アンインストールを行いたい場合、予めプラグインの機能の『カコミ枠を全て削除』を実行し InDesign ドキュメントを上書き保存してからプラグインのアンインストール作業を行って下さい。詳しくはマニュアルの[『プラグイン情報について』](#)をご覧ください。

製品導入後の設定と確認項目（1）

Cacotte 導入（インストール）後、以下の項目を設定または確認してください。

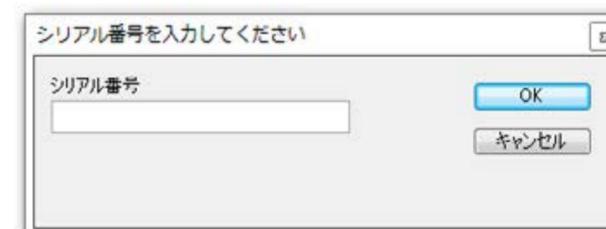
■ Cacotte パネルの表示

InDesign メニューバーの [ウィンドウ] から [Cacotte] にチェックを入れると、【Cacotte 体験版からのお知らせ】が表示されます。

- 評価版としてお使いの場合、キャンセルボタンをクリックすると Cacotte パネルが表示され、初回起動日から3ヶ月の間ご利用いただけます。
- 購入された場合は、OKボタンをクリック後、製品シリアル番号を入力してOKボタンをクリックしてください。InDesign を再起動後、正規版としてご利用いただけます。
- 評価版使用期間が終了した後も、引き続きシリアル番号入力欄は表示されます。入力欄が表示されない場合はお問い合わせ下さい。

■ キーボードショートカット

Cacotte 新規インストールおよびアップデート後、ご利用の環境によってはキーボードショートカットがデフォルトに戻ってしまう場合があります。カスタマイズしたユーザーセットをお使いの方は、お手数ですがご確認いただけるようお願いします。



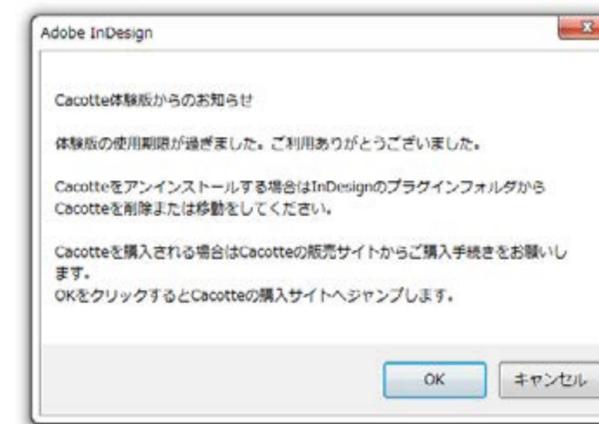
製品導入後の設定と確認項目（2）

Cacotte 体験版を使用して3ヶ月経過すると【Cacotte 体験版からのお知らせ】が表示されます。

キャンセルをクリックすると、Cacotte パネルの一部機能が選択できない状態になります。

正規版購入される場合はOKをクリックしていただき、[Cacotte 購入フォーム](#)へお進みください。購入後、[インストール手順](#)へお進みください。

アンインストールされる場合は[アンインストールの手順](#)へお進みください。

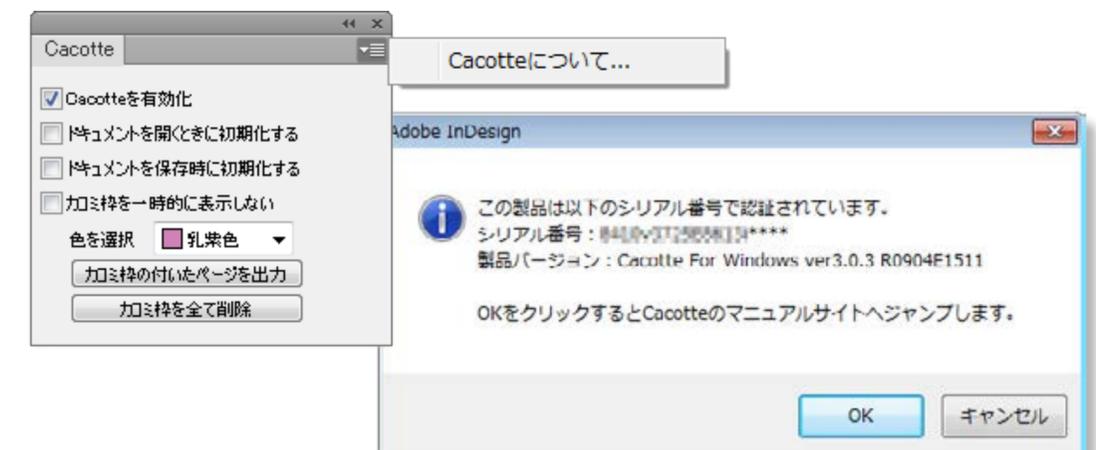


「ないか」と彼女に
も愛着があったの
「君は僕のことを
だに出発するよ。
一日中ツバメは

■シリアル番号の確認

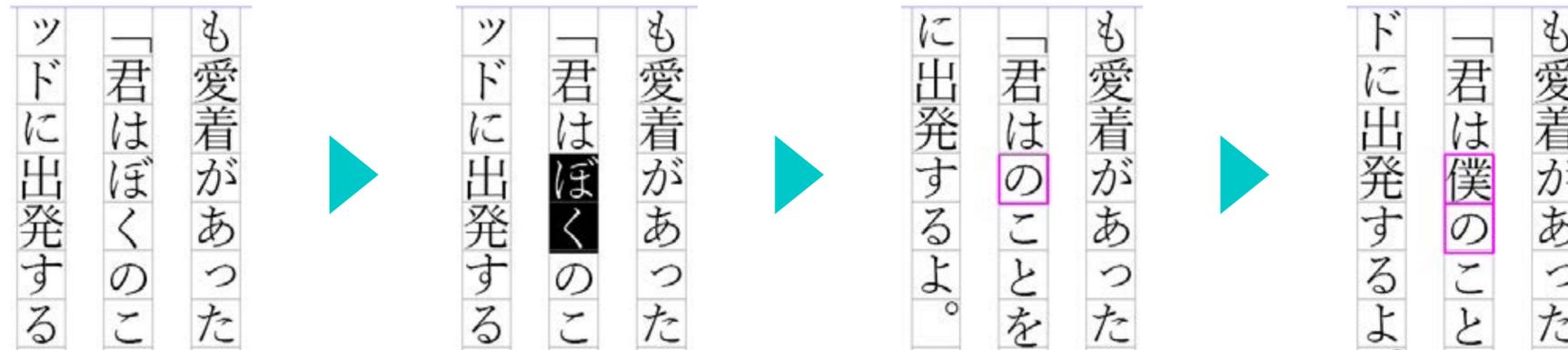
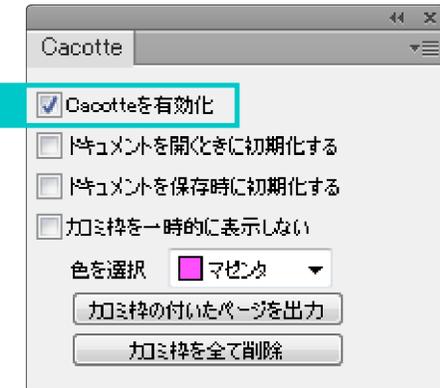
Cacotte パネル右上▼☰をクリックし、【Cacotte について...】をクリックするとシリアル番号確認ウィンドウが表示されます。

また、このウィンドウのOKをクリックすると Cacotte マニュアルダウンロードサイトへジャンプします。



Cacotte を有効化

Cacotte を有効化をオンにするとドキュメント上の変更箇所のイベントの検出がはじまり、変更が検出されると該当箇所がカコミ枠でマーク表示されます。マーク表示されたカコミ枠情報はプラグイン・データとしてドキュメント保存時にドキュメント内に埋め込まれ再利用が出来ます。

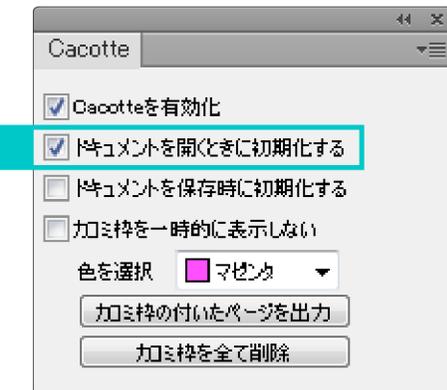


文字を削除すると直後の文字に枠が付きます。

ドキュメントを開くときに初期化する

ドキュメントを開くたびに自動的にカコミ枠情報を削除します。

ドキュメントが開かれるまでカコミ枠情報は削除されませんので、チェックを外した状態で開くと前回のドキュメント編集時のカコミ枠情報を確認することができます。



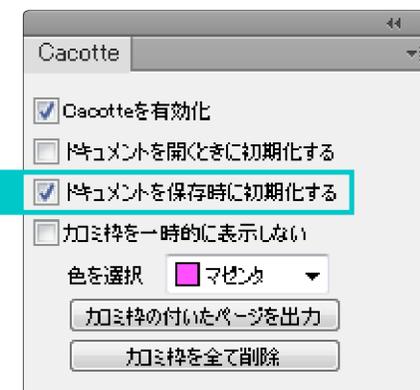
チェックを入れてドキュメントを開いた状態



チェックを外してドキュメントを開いた状態

ドキュメントを保存時に初期化する

カコミ枠情報をドキュメントに保存しません。編集途中で保存してしまうとそれまでのカコミ枠情報が消えてしまうのでご注意ください。



ド
に
出
発
す
る
よ
「
君
は
僕
の
こ
と
も
愛
着
が
あ
っ
た

チェックを入れた状態で
ドキュメント保存

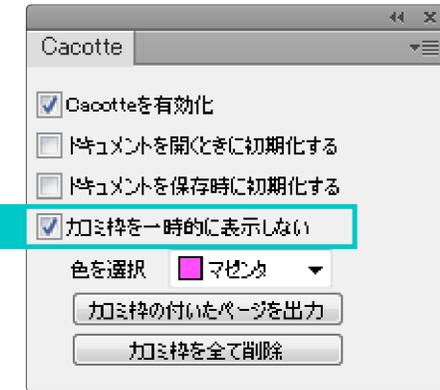


ド
に
出
発
す
る
よ
「
君
は
僕
の
こ
と
も
愛
着
が
あ
っ
た

カコミ枠が消えます

カコミ枠を一時的に表示しない

チェックを入れると、カコミ枠を非表示にできます。
チェックをはずすと、再びカコミ枠が表示されます。



チェックを入れた状態



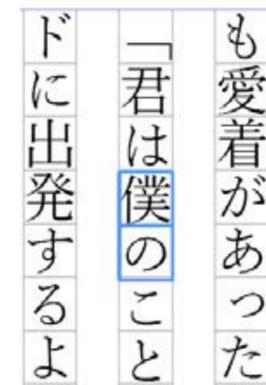
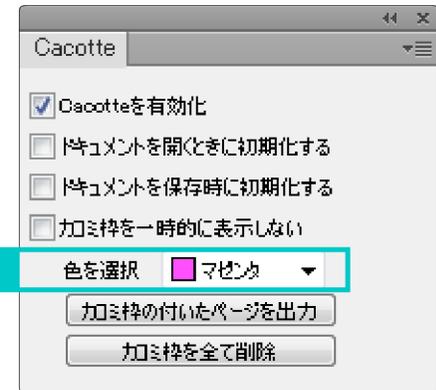
チェックをはずした状態

カコミ枠の色を選択する

ドキュメント内の囲み枠の色を一括で変更できます。

▼をクリックしてプルダウンから任意の色を選択します。

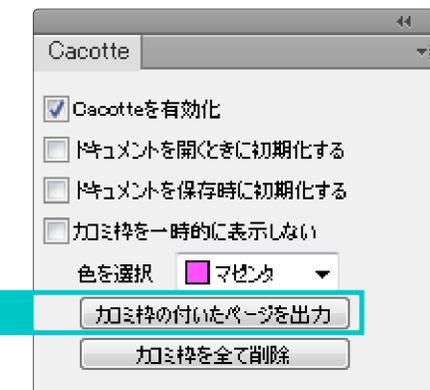
※設定した色は各パソコンに準拠し、他のパソコンには反映されません



▲マゼンタからライトブルーに設定した状態

カコミ枠の付いたページを出力（1）

修正されたページのカコミ枠情報をデータ出力します。



出力オプション

カコミ枠情報の出力は Cacotte 出力オプションからのみ行えます。

InDesign メニューからの書き出しではカコミ枠は出力されません。



「指定したページ出力」に、変更されたページのみ自動で表示されます。

- **ファイル形式**：PDF 形式で出力されます。
- **出力プリセット**……PDF の出力プリセットを指定出来ます。例えば画面で確認したい場合はデフォルトの「高品質印刷」、見開きのドキュメントをプリンターへ印字する場合は見開きのプリセットを作成し選択することなどで見やすく、また用紙が節約出来ます。
- **カコミ枠を出力しない**……カコミ枠が多すぎて視認しにくい場合、または修正されたページを直接面付けし直してセッターへ出力する場合など。
- **出力後に PDF を開く**……PDF 作成後にすぐ確認し

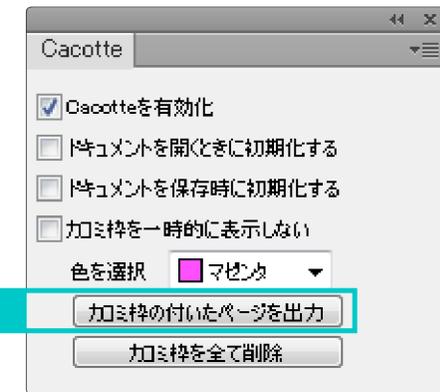
たい、または表示してそのままプリンターへ出力したい場合など。

■出力範囲

- **すべてのページを出力**……ドキュメント全ページを出力します。
- **指定したページを出力**……修正されたページは自動的に「指定したページを出力」に反映されますが、カコミ枠の付かない箇所や変更によってずれたページを確認したい時などに任意で追加・変更出来ます。ページの指定方法は InDesign の PDF 出力に準拠。

カコミ枠の付いたページを出力（2）

修正されたページのカコミ枠情報をデータ出力します。



PDF のファイル名

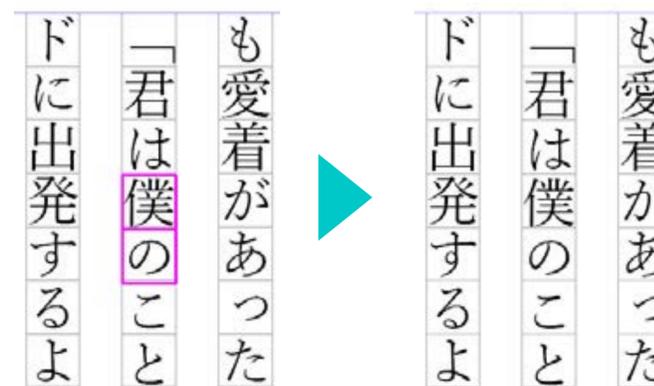
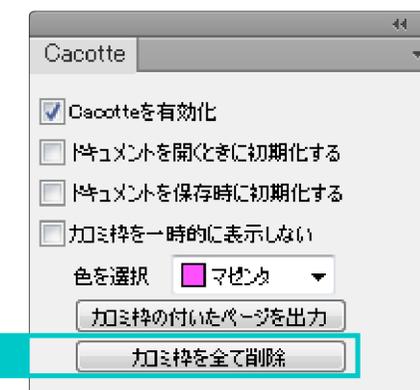
PDF のファイル名は
ドキュメント名_PXXX(開始ページ)_PXXX(終了ページ).pdf
で出力されます。
また、同じファイル名が存在する場合は上書きはされず、
～(1).pdf のように連番で新たな PDF が作成されます。

プリンターへ出力

Cacotte には直接プリンターへ出力するオプションはありません。作成された PDF からプリンター出力を行ってください。
PS3 (Post Script 3) 準拠プリンターであれば高品位な印字物が作成出来ます。
※ InDesign メニューからプリンター出力を行った場合、カコミ枠は反映されません。

カコミ枠を全て削除

開いているドキュメントのカコミ枠情報を手動で画面上から削除するものです。
削除後にドキュメントを保存することでカコミ枠情報が完全に削除されます。



プラグイン情報について

デフォルトではプラグイン情報（カコミ枠情報）はドキュメントに保存される設定となっています。削除は Cacotte パネルの【カコミ枠を全て削除】で出来ますが、Cacotte をアンインストールした後では削除することが出来ませんのでご注意ください。

○プラグイン情報埋め込み確認方法

ドキュメントをパッケージし、外部プラグイン・タブに

Cacotte_×××.InDesignPlugin

（×××は InDesign のバージョン）と表示されている場合はプラグイン情報が保存されています。

または、InDesign のファイルメニュー>パッケージを選択し、

外部プラグイン・タブを確認することでも現在ドキュメント内に残っている、外部プラグイン情報を閲覧することができます。

【カコミ枠を全て削除】を行うと、ドキュメント保存前でも外部プラグイン情報から Cacotte の情報を削除することができます。

ユーザーサポート

Cacotte の製品概要・ご購入について・Q&A・パンフレットダウンロード・サポート情報およびアップデート等は旭印刷株式会社ホームページ内の Cacotte ページでご確認いただけます。

<http://asahi-printing.jp/cacotte>

製品の不具合のご報告・ご意見・ご要望等は旭印刷株式会社ホームページの Cacotte 購入フォームよりお問い合わせください。

■ 販売 ■

旭印刷株式会社

東京都板橋区小豆沢 2 丁目 20 番 24 号

<http://asahi-printing.jp>

■ 開発 ■

株式会社 ケイ・ジェイ・システムズ 旭印刷株式会社 システム開発部

<http://www.kjsystems.com>

【KJAka (当社より販売しておりました旧プラグイン) から Cacotte へバージョンアップされる方へ】

1. Cacotte を KJAka が入っているパソコンへインストールする場合、Cacotte は KJAka と同じパソコンに追加でインストールすることは出来ません。予め KJAka はアンインストールして頂き、その後 Cacotte をインストールして下さい。
2. KJAka との互換性について。KJAka をご利用になっていた環境から、Cacotte にバージョンアップされる場合、KJAka のプラグイン情報が埋め込まれたドキュメントを引き続き Cacotte で利用することが可能です。逆に、Cacotte でプラグイン情報を埋め込んだドキュメントを KJAka に差し戻して利用することはできません。

※一度 Cacotte で KJAka のドキュメントを保存することで、プラグイン情報がアップデートされます。

KJAka → Cacotte プラグイン情報のアップデートが可能です。同じインデザインドキュメントを利用することが出来ます。

Cacotte → KJAka プラグイン情報をダウングレードして利用することは不可能です。一度保存した後は KJAka がインストールされた環境でこちらのドキュメントは開けなくなります。ご注意下さい。